

会派を代表する議員が、市長の市政方針、新年度予算、その他市政全般に関して質問を行っています。

公明党



質問者

内田 俊英



会派メンバー

福部 正人・内田 俊英

「市民を味方にする」マルタス



Q 交流という言葉に主体性がない。主語がない。この言葉が、行政から主体性を奪っているのではないか。マルタスが市民との協働の拠点となるための戦略は。



A 市民生活部長 市では、交流を第1のステップと捉えている。2年目は、一人でも多くの来館者が次のステップに進めるような取り組みが求められると考えているため、新設した市民活動登録制度や相談機能の充実を図り、登録団体主催あるいはマルタス



マルタスのミッションは“人づくり”

との共催による多種多様な活動を実施していくほか、マルタスの集客力を生かした見え

「市民でにぎわつ」えきキタづくり



Q 道路脇にパークレットを設置する取り組みが発表された。産学官民連携による大変楽しみな試みだが、設置するだけにとどまらず、えきキタ開発の一環としてしっかり位置づけるための、市の考えは。



A 都市整備部長 国は、まちなかのにぎわい創出として、歩行者が居心地よく歩きたくなるウォーカーブルなまちづくりを推進しており、パークレット設置はその取り組みの一つである。瀬戸内国際芸術祭の秋会期中には、パークレット設置と関連イベントの実施による社会実験を予定しており、こうした取り組みを通じ、中心市街地の活性化に向けた駅北地区の可能性を見いだしていきたい。

「市民の財産」

市営住宅のあり方



Q 市営住宅の外国人入居者が増えている。

「市営住宅 住まいのしおり」には基本的な事項のほか、迷惑行為とされる行動や、それに伴うペナルティなどが日本語で書かれているが、入居者にどこまで理解されているのか。ルールの実効性を確保するための市の取り組みは。



A 都市整備部長 「住まいのしおり」は現在、英語、スペイン語、中国語版を作成中であり、次年度早期には各戸配布する。迷惑行為等の通報を受けた際は、現地確認の後、対象者が特定できる場合には直接面談し、双方の意見を聴取したうえで適切な処置を行う。再三の注意も聞き入れない場合は、退去勧告等も実施している。また、対象が特定できない場合でも、掲示板等で注意や警告を行っている。今後も、入居者の住みよい環境確保に向け、強い姿勢で運営していく。

総括質疑

10人の議員が市政を問う

質問者・項目

太字の項目は
本文中に
要約文を掲載

武田 孝三

- ① 行政のデジタル化
- ② 持続可能な脱炭素社会
- ③ スポーツ振興

角野 仁美

- ① 子どもの虐待防止
- ② 自立支援
- ③ 健康寿命と地域活性化
- ④ 小中学生と運動

廣田 勝也

- ① ゼロカーボンの実現に向けた取り組み

山本 直久

- ① 競艇収益基金
- ② 総合運動公園
- ③ ポールパーク丸亀
- ④ ウォーカブルなまちづくり、浸水対策
- ⑤ 空き家対策
- ⑥ 観光
- ⑦ 健康

渡邊 一馬

- ① 新型コロナウイルス支援
- ② 子どもの居場所づくり

香川 勝

- ① 食育
- ② 有機農業
- ③ 自然体の防災

守家 英明

- ① 学校教育におけるICT
- ② 高齢者移動手段確保事業

大西 浩

- ① 社会福祉法人
- ② プラスチック分別収集
- ③ 職員の定年引き上げ

水本 徹雄

- ① 水産業者へのコロナ支援
- ② SDGs 推進対策
- ③ 新市民会館

神田 泰孝

- ① 資料館開館50周年事業
- ② 丸亀城かい掘り
- ③ ガードレール等盗難対策
- ④ 市民協働投稿サービス
- ⑤ 成年年齢引き下げ

総括質疑

市役所窓口も キャッシュレスに



武田孝三議員

公共施設や自治体窓口のキャッシュレス化が望まれている。税金や公共料金がいつでも支払えることから、時間や手間、手数料などの節約になるほか、コロナ禍で外出を控える市民ニーズにも応える形で、全国的に普及している。新年度から使用できるキャッシュレス決済の種類と運用、期待される効果は。



利用しやすい窓口

A 総務部長 税務課が収納事務を行っている全税目および介護保険料、後期高齢者医療保険料を対象とし、Pay Pay、LINE Pay、Pay B、支払秘書の4アプリを導入予定としている。支払いまでの流れに多少違いはあるが、専用

アプリのインストールと利用登録を行い、納付書に印刷されているコンビニ収納用バーコードを読み取ることで納付できる。キャッシュレス決済の導入で、時間がない、失念していたなどのケースが減少し、収納率の向上が期待されると考えている。

育児の不安を みんなで解決！

Q



角野仁美議員



愛育班で みんなあつまれ！

多くの虐待事件が発生する昨今、行政の対応が重要視されている。県外から移り住んだ私は、市の運営するウエルカム広場や母子愛育班など、赤ちゃん連れで集まれる場をきっかけに交友関係が生まれ、大きな助けになった。子育て中の保護者が孤立しないために、市が提供している場や相談窓口は。



A

健康福祉部長 本市では健康課ハッピーサポート丸亀とNPO法人グランマール

あだあじおが連携して相談支援を行う子育て支援総合相談窓口まる育サポートを設置し、妊娠中から18歳までの子育て家庭に対する切れ目ない支援に努めて

いる。また、毎月1回、コミュニティセンターでウエルカム広場を開催。保育所、子育て広場等地域子育て支援拠点施設などでは、児童虐待の未然防止に向け、母子愛育班や母子保健推進員、主任児童委員などが見守り活動も行っている。

指定避難所に 蓄電池の導入を

Q



廣田勝也議員



定置型独立電源

災害時等、本市の指定避難所の停電対策には、発電機が使われている。発電機は、利用時の騒音、排気ガスの発生など、夜間や室内での使用に対応しにくい面があるが、太陽光発電等による再生可能エネルギーや蓄電池にはそれらの心配がないうえ、燃料の備蓄や定期的な動作確認の必要もない。避難所に蓄電池を導入してはどうか。



A

市長公室長 本市の指定避難所では、すでに2か所

所で再生可能エネルギーおよび蓄電池を設置しており、今後新たに改築する学校やコミュニティセンター等でも、順次、太陽光パネル等再生可能エネルギーの導入を進めていく予定であ

る。しかし、多くの避難者を受け入れる施設に対応可能な大容量蓄電池の導入やパネルの増設、増設場所確保などの課題に加え、保守費用等高額な経費も見込まれるため、蓄電池導入に関しては、引き続き検討していきたい。

歩きたくなる まちなかへ



山本直久議員



人でにぎわうウォーターフロント開発を

Q

歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりに取り組む協定が締結されたが、具体的にどのような協定か。また、西汐入川周辺の浸水対策として、より排水能力の高いポンプ設備を整備するとあるが、その経緯は。



A

市長 市と四国化成工業が連携協力し、にぎわいあるまちづくりを継続発展させていく協定に調印したものである。具体的な内容としては、駅北エリアにパークレットを設置し、歩行者空間の新たな人流やにぎわいの創出につなげる社会実験を行うなど、有効な取り組みを進めていく。

A

都市整備部長 市は、これまでにも西汐入川周辺地域の排水対策に取り組んできたが、近年の全国的な豪雨災害の激甚化を見据え、予定していた段階的なポンプ場整備を繰り上げて進める方針に変更したものである。

ウイズコロナ 小児のワクチンと休業助成



渡邊一馬議員



小学校休業等対応助成金

Q

5歳から11歳の子どもを対象としたワクチン接種の今後の医療体制と接種スケジュールは。また、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業、休園などで保護者が仕事を休まなければならない場合の国の支援制度について、周知は。



A

市長 小児のワクチン接種種は、市内小児科医療機関での個別接種と大型接種会場での小児接種枠による集団接種の体制を予定している。具体的には、3月2日から接種券送付、3月11日から予約開始、3月19日から接種開始の予定で進めている。

A

教育長 小学校休業等対応助成金は、これまでに2回、学校を通じて保護者に周知している。今後は、事業者や市民に対して関係課と連携して働きかけを行うとともに、保護者への確実な周知のため、直接リーフレット等を再配布するなど検討していく。